

# 令和3年度 磐田市立磐田西小学校 学校評価書

(児童の評価90%以上をA)

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
学びづくり	<p>○ 聴き合い・学び合う子どもを育てる。</p> <p>○ 自分のために、自分で学び、課題を一心に追究する子どもを育てる。</p>	①学校生活が、楽しいか。	A	<p>○「聴き合い、学び合う」ことができる児童を育てるという目標に対し、④「授業の内容が分かる」、⑦「先生は分かりやすく教えてくれているか」という項目が、昨年度に引き続き、A評価になっている。さらに、②「学んでいることが自分の力として身に付いているか」という項目が、昨年のB評価からA評価になった。子どもたちが主体的に学習に取り組み、学び合って授業を受けていることが分かるとともに、子どもたちが学びの実感を得られるような授業改善と評価を意識した実践の成果が少しずつ出てきていると考えられる。(②90%、④90%、⑦97%)</p> <p>○⑧「先生は自分のことを分かってくれている。」の項目がA評価という結果から、教員と子どもの信頼関係が築けており、安心して生活できていることが分かる。さらに、そのことが①「学校生活が楽しい」がA評価につながっていると考えられる。(①93%、⑧92%)</p> <p>○⑩外国語の授業が楽しい」という項目がA評価になった。専科授業の効果が表れている。(⑩91%)</p> <p>※⑤「分からないことは人に聞いたり、自分で調べたりして学習している」という項目については、粘り強く追究しながら学ぶという習慣が十分ではなく、分からないことをそのままにしまったり諦めていることを子ども自身が実感していると思われる。どのように学習を進めていけばよいかについて、子どもたちに丁寧に指導していく必要がある。(⑤80%)</p> <p>※⑥「中学校での学習を楽しみにしているか」の項目については、毎年子どもが異なるので、単純比較は難しい。今後、小中での交流が増加すれば、中学校生活への期待が高まるのではないかとと思われる。</p>	○どの学年も落ち着いていて、楽しく学習していることが分かり、安心している。 <p>○コロナ禍において、学校がいろいろな対策をして教育活動をしていることが分かる。学校の考えやねらいを保護者に伝わるように今後も保護者や地域に発信してほしい。</p> <p>○GiGAスクール構想における、一人一台端末をどのように活用しているのか、また今後どのように実施していくのか知りたい。あるものは有効に活用し、休業や閉鎖等が発生しても、ある程度の充実した学びを保障できる体制を整えておいてほしい。</p>
		②学んでいることが自分の力として身に付いているか。	A		
		③家庭学習に必ず決めた時間取り組んでいるか。	B		
		④授業で学習している内容が分かるか。	A		
		⑤分からないことは人に聞いたり、自分で調べたりして学習しているか。	B		
		⑥中学校での学習や生活を楽しみにしているか。	B		
		⑦先生は、分かりやすく教えてくれているか。	A		
		⑧先生は、自分のことを分かってくれている。	A		
		⑨先生や友達の話を目と耳と心で聴いているか。	A		
		⑩外国語活動の授業が楽しいか。	A		
心づくり	<p>○ 約束を守り、当たり前なのが丁寧にできる子どもを育てる。</p> <p>○ 温かい言葉の交流ができる子どもを育てる。</p>	⑪相手の気持ちを考えた、温かな言葉づかいをしているか。	B	<p>○⑭「進んで気持ちよくあいさつをしているか。」の項目については、子どもの評価が昨年度より少し高まりA評価(90%)となった。保護者の評価(76%)と教員の評価(92%)と昨年よりも増加傾向なので、継続してあいさつがよくなっていくように丁寧な指導を継続したい。</p> <p>○⑬「私たちのクラスは、互いにルールを守り、協力しようとしているか」の項目が、4年継続してB評価となっている。昨年度とほぼ同様な数値(88%)となっているが、人間関係づくりの苦手な児童も見られるので、丁寧な指導と確実な見取りを心掛けたい。</p> <p>※⑪「温かな言葉遣い」については、結果に波があり、なかなかA評価が定着しない。日々の生活の中で、継続的な指導を心掛けたい。</p> <p>※⑮今年度から、タブレットを活用して他校と交流する取組を始めたが、子どもたち自身が実感を得られるほどの取組ができなかった。来年度以降、小中一貫教育の実践として取り組むことで、改善傾向が見られるのではないかとと思われる。</p>	○子どもと教員の信頼関係ができていることに安心した。 <p>○子ども同士の人間関係によるトラブルやいじめ等については、どこでも起きうることとしてとらえ、子どもの発達段階に応じた丁寧な指導をお願いしたい。</p> <p>○子どもたちのあいさつに関しては、昨年度より良くなってきているが、学校ではできても地域では十分できているとは言えない。地域での大人の姿も大切なので、学校、家庭、地域が協力し合い、今後も改善できるようにしていきたい。</p>
		⑫靴を整とんしたり、時刻を守ったりして生活しているか。	B		
		⑬私たちのクラスは、互いにルールを守り、協力しようとしているか。	B		
		⑭進んで気持ちよくあいさつをしているか。	A		
		⑮他校の先生や友達と交流することのよさを感じているか。	B		
		⑯今住んでいる地域の歴史や自然に関心があるか。	B		
体づくり	<p>○ 安心できる空間づくりをする。(一人一人の心のケアを進める。)</p> <p>○ 基本的な生活習慣の確立と自分から行動する力を身に付ける。</p>	⑰学校に相談できる人(先生や友達)がいるか。	A	<p>○⑰「学校に相談できる人(先生や友達)がいるか。」という項目がA評価(90%)であり、学校の中で子どもが居場所を実感しながら、安心して生活できていることが分かる。それでも、昨年度より少し減少傾向ということで、子どもたちの思いに寄り添った指導を心掛けていきたい。</p> <p>※⑱「早寝、早起きができ、必ず朝ご飯を食べている」の項目がB評価(84%)だが、昨年度より少し減少傾向である。規則正しい生活の大切さを、子ども、家庭に伝える指導を心掛け、工夫して実践していきたい。</p>	
		⑱早寝、早起きができ、必ず朝ご飯を食べているか。	B		

## 学校関係者評価を受けてのまとめ

学校評価アンケートの結果を通して、様々な視点から御意見をいただいた。子どもたちが安心して、楽しく生活できていることについては、昨年度同様学校としての取組について理解をいただいた。コロナ禍においても、子どもの目線に立ってやれることに取り組んでいることが伝わり、今後に向けての励みになった。また、一人一台端末をどのように有効活用していくかについて関心が高いと感じた。一人一台端末の本校の取組については、まだ十分保護者や地域に伝わっていない状況であり、学校としての体制も周辺の学校と比べて進んでいるとは言えないので、令和4年度から今以上に活用できる体制を整えていきたい。評価結果については、昨年度と似たような傾向であるが、わずかながら改善傾向である。しかし、アンケートの結果はA評価であっても、その中にも不満に思っている子どもたちも存在することは事実である。少数意見の子どもたちの思いも真摯に受け止め、改善できるところはすぐに改善していく姿勢をもち続けたい。来年度は新学習指導要領全面実施3年目ということもあり、今年度よりもさらに工夫した教育活動が求められる。そのことを念頭に入れ、開かれた学校を目指すとともに、学校、地域、保護者が連携し、教育目標である「一心に学び、高め合う子」の育成の具現化に向けて職員一同尽力していきたい。